

<定点把握感染症>

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数

※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

※◎:警報レベル ○:注意報レベル

疾患名	全国	山形県			村山地区			最上地区			置賜地区			庄内地区			累積(県) 第1~39週
	第38週	第38週	第39週	増減	第38週	第39週	増減	第38週	第39週	増減	第38週	第39週	増減	第38週	第39週	増減	
インフルエンザ定点 (定点医療機関数)		(48)			(20)			(5)			(10)			(13)			
インフルエンザ	894 0.18																11418
小児科定点 (定点医療機関数)		(30)			(13)			(3)			(6)			(8)			
RSウイルス感染症	7868 2.49	148 5.10	102 3.40	▼	98 8.17	59 4.54	▽	1 0.33	4 1.33	△	30 5.00	24 4.00	▼	19 2.38	15 1.88	▽	1390
咽頭結膜熱	1202 0.38	20 0.69	22 0.73	△	14 1.17	17 1.31	△		1 0.33	△	4 0.67	1 0.17	▽	2 0.25	3 0.38	△	735
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	3784 1.20	68 2.34	71 2.37	▲	19 1.58	23 1.77	△	3 1.00	2 0.67	▽	30 5.00	36 6.00	▲	16 2.00	10 1.25	▽	5431
感染性胃腸炎	8191 2.60	42 1.45	44 1.47	△	17 1.42	20 1.54	△	1 0.33	1 0.33		15 2.50	17 2.83	△	9 1.13	6 0.75	▼	5698
水痘	620 0.20	10 0.34	8 0.27	▽	5 0.42	2 0.15	▽	1 0.33		▽	3 0.50	6 1.00	△	1 0.13		▼	473
手足口病	8421 2.67	129 ◎4.45	95 ◎3.17	▼	27 ◎2.25	28 ◎2.15	▼	14 ◎4.67	8 ◎2.67	▼	43 ◎7.17	28 ◎4.67	▼	45 ◎5.63	31 ◎3.88	▼	3046
伝染性紅斑	116 0.04	17 0.59	11 0.37	▽	2 0.17	1 0.08	▼	2 0.67		▽	13 ◎2.17	10 ◎1.67	▽				564
突発性発しん	1190 0.38	13 0.45	13 0.43	▼	3 0.25	3 0.23	▼	1 0.33	3 1.00	▲	4 0.67	4 0.67		5 0.63	3 0.38	▽	725
百日咳	22 0.01		1 0.03	△		1 0.08	△										24
ヘルパンギーナ	1759 0.56	23 0.79	16 0.53	▼	3 0.25	6 0.46	△	1 0.33		▼	16 ◎2.67	2 0.33	▼	3 0.38	8 1.00	△	1173
流行性耳下腺炎	974 0.31	15 0.52	5 0.17	▽	3 0.25	1 0.08	▽				11 1.83	3 0.50	▽	1 0.13	1 0.13		532
眼科定点 (定点医療機関数)		(8)			(4)			(1)			(1)			(2)			
急性出血性結膜炎	4 0.01																
流行性角結膜炎	591 0.85	14 1.75	16 2.00	▲	11 2.75	14 3.50	▲	2 2.00	2 2.00					1 0.50		▽	123
基幹定点 (定点医療機関数)		(10)			(4)			(1)			(2)			(3)			
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	2 0.00																78
クラミジア肺炎	8 0.02																
マイコプラズマ肺炎	144 0.30	4 0.40	6 0.60	△	2 0.50	2 0.50		1 1.00	2 2.00	▲				1 0.33	2 0.67	△	168
細菌性髄膜炎	15 0.03		1 0.10	△											1 0.33	△	3
無菌性髄膜炎	17 0.04	1 0.10		▽										1 0.33		▽	8

<全数把握感染症>

疾患名	類型	報告数				備考
		村山	最上	置賜	庄内	
結核	患者	1				
	無症状病原体保有者			1		
レジオネラ症	患者				1	
アメーバ赤痢	患者	1				
侵襲性肺炎球菌感染症	患者				2	※内、第37週追加報告分1件。 肺炎球菌ワクチン接種歴:3回 1件、不明 1件。
梅毒	患者	1				
カルバペネム耐性腸内細菌感染症	患者				1	※第38週追加報告分。90日以内の海外渡航歴無し。

<通信欄>

※トピックスで、手足口病、伝染性紅斑について掲載しています。

< 定点把握感染症 報告患者数 年齢別 >

インフルエンザ定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	
インフルエンザ															
	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									合計
小児科定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	合計
RSウイルス感染症	10	22	39	15	8	7		1							102
咽頭結膜熱		1	6	1	6	2	1	3		1		1			22
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			4	6	9	10	6	8	6	4	6	11		1	71
感染性胃腸炎		5	10	4	4	3	3	2	3	4		4	2	44	
水痘			1	1				1	2	1	2			8	
手足口病		9	27	16	18	6	5	4	1	1		6		95	
伝染性紅斑			1	1	3	3	1		1		1			11	
突発性発しん		6	5	2										13	
百日咳							1							1	
ヘルパンギーナ	1	3	7	2	2	1								16	
流行性耳下腺炎				1				2	1			1		5	

< 平成29年8月 月報 >

2017年9月20日 発行

疾患名	山形県		村山地区		最上地区		置賜地区		庄内地区		累積(県) 1～8月	
	7月	8月	7月	8月	7月	8月	7月	8月	7月	8月		
STD定点 (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)			
性器クラミジア感染症	報告数	20	24	9	9	7	10	1	1	3	4	150
	定点当り	2.00	2.40	2.25	2.25	7.00	10.00	0.50	0.50	1.00	1.33	
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数	2	5	2	2				1		2	49
	定点当り	0.20	0.50	0.50	0.50				0.50		0.67	
尖圭コンジローマ	報告数	3	4	2	2					1	2	14
	定点当り	0.30	0.40	0.50	0.50					0.33	0.67	
淋菌感染症	報告数	5	3	1	1					4	2	30
	定点当り	0.50	0.30	0.25	0.25					1.33	0.67	
基幹定点 (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)			
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告数	5	7	1	1		1			4	5	53
	定点当り	0.50	0.70	0.25	0.25		1.00			1.33	1.67	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告数	23	21	14	11	2	1	2		5	9	165
	定点当り	2.30	2.10	3.50	2.75	2.00	1.00	1.00		1.67	3.00	
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数											2
	定点当り											

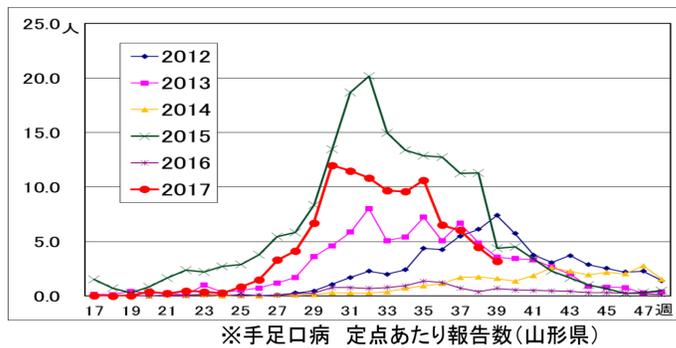
< トピックス >

【手足口病情報】

手足口病の定点あたり報告数が、県内4地区全てにおいて警報レベルとなっています。

- ・手足口病
警報開始基準値:5人 警報終息基準値:2人
- ・第39週 定点あたり報告数 (山形県:3.2人)
村山地区 2.2人、最上地区 2.7人、置賜地区 4.7人、庄内地区 3.9人

1. ウイルス分離・検出状況 :山形県衛生研究所(9月27日現在)
2017年に入って、山形県内の手足口病の患者から、コクサッキーウイルスA6が54件、エンテロ71が3件検出されています。
2. 流行期の定点あたり報告数の推移(山形県)



【予防法】

感染は、主として咽頭から排泄されるウイルスによる飛沫感染でおこりますが、便中に排泄されたウイルスや、水疱内容物からも接触感染します。特に便中には長期にわたってウイルスが排泄されますので、手洗いをしっかりとすることと、排泄物を適切に処理することが大切です。

【伝染性紅斑(リンゴ病)情報】

伝染性紅斑の定点あたり報告数が、置賜地区で警報レベルとなっています。

- ・伝染性紅斑
警報開始基準値:2人 警報終息基準値:1人
- ・第39週 定点あたり報告数 (山形県:0.4人)
村山地区:0.1人 最上地区:0.0人 置賜地区:1.7人 庄内地区:0.0人

伝染性紅斑とは

ヒトパルボウイルスB19に感染することによっておこる感染症です。主に小児にみられる疾患ですが、成人もかかる場合があります。

【症状】

10～20日の潜伏期の後、両頬に鮮明な赤い発疹が現れ(写真1)、続いて手足にもレース様の発疹が現れます。なお、頬に発疹が現れる7～10日前に、微熱や風邪の様な症状がみられることが多く、この時期にウイルス排出量が最も多くなります。発疹が現れた頃にはウイルス量が低下し、ほとんど感染力は消失しています。

予後は通常良好ですが、妊婦が感染した場合、胎児水腫または流産を起こすことがあるので注意が必要です。

【予防法】

伝染性紅斑にはワクチンはありません。また、感染力のある時期には、特徴的な症状を示さないため、日頃からの手洗い・うがいが重要です。



写真1:両頬の発疹

(国立感染症研究所HPより)

※参考URL:IDWR 感染症の話 伝染性紅斑

http://idsc.nih.gov.jp/idwr/kansen/k04_23.html